

平成19年度 第38回千葉県中学校バスケットボール新人大会総評

千葉県小中体育連盟主催、千葉日報社他後援の第38回千葉県中学校バスケットボール新人体育大会は11月4日(日)、11月10日(土)、11日(日)の3日間、南房総市の富浦体育館をメイン会場に、富山ふれあいスポーツセンター、丸山体育館の各会場で行われた。

男子のベスト4はシード校がすべて勝ち上がり、習志野五中(習志野)対塩浜中(市川・浦安)、習志野台中(船橋)対松戸四中(松戸)の準決勝となった。決勝は大会前より本命視され、評判通りの実力を発揮した習志野五中と接戦を制して勝ち上がった第2シードの習志野台中の対戦となった。序盤から厳しいディフェンスを仕掛ける習志野五中は、スティールから速攻でリズムにのり、アウトサイドシュートも決まりだして前半で53 - 19とゲームを決め、千葉関東へ向け好発進となった。

女子の決勝戦は、第1シードの昭和学院中(市川・浦安)と東国分中(市川・浦安)の同支部対決となった。出だしこそ固さが見られたが、アウトサイド、インサイドと堅実なバスケットを展開した昭和学院中が、支部予選のリベンジを狙う東国分中の挑戦を退け、2年ぶり11回目の優勝を果たした。3位には激戦のBブロックを制した船橋中(船橋)と、第2シードを破って快進撃を見せた八幡中(市原)が入った。

来年度は関東大会が千葉県で開催されるが、男女ともベスト4争いは混戦が予想され、優勝した習志野五中と昭和学院中を軸に、出場権を目指す熱い戦いが繰り広げられる。

TO指導や会場の準備など、開催地である安房地区の役員、関係者の皆様のご尽力により大会を無事終えることができました。心よりご協力を感謝いたします。

文責 県中体連専門部

副委員長 山口 健 一